

# 議会だより そとがはま

第77号

令和6年8月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

9月6日(金)～12日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



## 7/3 龍飛崎清掃奉仕活動 (龍飛崎海岸)

### 目次

- 第150回6月定例会／2～5
- 一般質問：4議員が登壇／6～12

- 議会活動報告／13～17
- 議会にお越しく下さい／18

# 一般会計に物価高騰対策事業費等 9558万5千円を追加補正

## 6月定例会

令和6年第150回定例会は6月6日から11日までの6日間の日程で開催され、補正予算案、町条例案、人事案件、報告案件など19件を審議し、原案のとおり可決及び同意・承認しました。

また、議員発議として「政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める意見書(案)」が提出され、原案のとおり可決しました。

一般質問は4人の議員が登壇しました。内容については、通告順に6〜12ページに掲載しています。

ただよび(汝也)

### 一般会計補正予算

観光施設の修繕もしくは撤去を

問 石岡勲議員

今まで、観光施設で事故等があれば困ると、再三、議員から提言等あったわけだが、残念ながら、今回人が出た。全治1カ月である。私以外の

答 町長

けがをしてしまった方が出たということは、非常に残念に思う。今できる限り、予算の許す限り、修繕などを進めて、皆さんに楽しんでもらえて、

議員も改善の要望を出してきた。確かに予算上やれる箇所が少なく、少しずつの修繕だったが、結果としてこうなったことで非常に残念に思う。

問 石岡勲議員

今回の場所は、私は撤去してしまってもいいのではと思う。設置してかなりの年数が経っている。現場をきちんと精査して、必要なものは直して使う。距離的に同じ施設が重複しているのであれば、撤去もやむを得ないと思うが。

答 町長

必要なもの以外は撤去

各支所窓口の対応について

問 三上満議員

各支所に、三厩地区住民あるいは平館地区住民からいろいろな問い合わせや要望があると思う。その際、本庁に問い合わせてくれというようなのは絶対にせずに、支所の段階で本庁に問い合わせ、その内容を町民にお答えしなければなら

する方向も含めて検討してまいりたい。

い。その点について確認をしたい。

答 三厩支所長  
税関係などのお問い合わせについては、又聞きになったりすると、そこが生じる場合があるので、税務課へと答えることもあるが、なるべく支所で解決するようにしている。

答 平館支所長  
町民からの要望、相談等があれば、お話をしっかり聞いて、こちらで対応できるものは対応し、難しいものであれば本庁へこちらから電話で確認している。その対応したものを町民にお伝えしている。



5月20日にオープンした平館支所(平館交流センター内)

### ●6月補正予算●

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	9,559万円	57億9,559万円
国民健康保険特別会計	390万円	9億7,190万円
介護保険特別会計	130万円	12億730万円
大字費特別会計	218万円	308万円
病院事業会計 (収益的収入支出)	400万円	10億5,603万円
下水道事業会計 (資本的収入)	▲657万円	1億6,649万円
下水道事業会計 (資本的支出)	▲650万円	2億1,806万円

※1万円未満は四捨五入

### 融雪溝の改善を

問 浜谷恭市議員

昨年の冬、三厩六條間地区の融雪溝について、配管の一部区間が詰まり、ほぼ1カ月間使用できなかった。地区住民に聞いたら、くみ上げてから未

答 建設課長

端に行くまでの管が細いとのこと。配管の設計上に問題がある。皆さんが快適に使えるような体制を整えるべきだと思うが、

県の管理になっているので、県に今の状況を説明して、改善できないか要望していきたい。

**要望** 浜谷恭市議員  
住民の方にも、今課長が言ったことをお知らせして、丁寧な説明をしていただきたい。

**空き家になっていく古い町営住宅の解体を**

**問** 安藤英博議員  
今回、空き家解体の予算も計上されている中で、町営住宅もだいぶ前から空き家になって、小屋も壁が壊れて穴が開いている。空き家解体の補助金を出して町民から喜ばれて実施している中、町営住宅の空き家をそのままにしている実態は、行政としてまずいことだと思う。町営住宅をいつまでそのままにしておくのか。

**答** 建設課長  
早期に解体したいと考えているが、予算の問題もある。役場内部でも相談しながら、できるだけ早く解体するようにしていきたい。

**国民健康保険特別会計補正予算**

**問** 福井洋一議員  
国保システム改修委託料について、今回396万円増額計上した理由は。

**答** 住民課長  
マイナンバーカードと保険証の一体化に向けたシステム改修ということ。今回計上した。

**問** 福井洋一議員  
国のマイナンバーカード保険証の利用率が6パーセントだという話からすると、我が町のマイナンバーカード保険証の利用率はどれくらいか。今後、普及させるためにはどういうことで啓発活動をしていくのか。

**答** 住民課長  
マイナンバーカードについては、当町は約70パーセントの方が持っている。医療機関での利用率は出ていないが、今後、

実際にマイナンバーカードを持っていない方が医療機関を受診するという段階になれば、資格証等の発行で、相当混乱するということが予想される。



**大字費特別会計補正予算**

**問** 戒修議員  
上小国地区の環境整備事業補助金は、どういう内容なのか。

**答** 総務課長  
上小国地区の218万円については、鳥居を整備したいという地区からの要望があり、これに関する補助金となっている。

**専決処分**

**専決処分した事項の報告及び承認を求める件**

**◎報告第1号**  
外ヶ浜町条例の一部を改正する条例  
(令和6年能登半島地震に係る個人住民税の雑損控除の特例措置に係る「地方税法の一部を改正する法律」「地方税法施行令の一部を改正する政令」が施行されたことに伴い、緊急に条例改正を要するため。)

**◎報告第2号**  
外ヶ浜町特別災害による被害者に対する町税減免の特例措置に関する条例の一部を改正する条例  
(この度発生した「陸奥湾ホタテガイ高水温被害」を町長が特別災害に指定することとなった場合に現在の地方税法を反映

させておく必要があるため。)

**◎報告第3号**  
令和5年度外ヶ浜町一般会計補正予算  
(令和5年度特別交付税及び各種交付金の交付決定額が現計予算額を大きく上回ったことによる減債基金等への積立等について、緊急に予算措置を要するため。)

**◎報告第4号**  
外ヶ浜町条例の一部を改正する条例  
(「地方税法等の一部を改正する法律」「地方税法施行令の一部を改正する政令」「地方税法施行規則及び航空燃料譲与税法施行規則の一部を改正する省令」が施行されたことに伴い、緊急に条例改正を要するため。)

**◎報告第5号**  
外ヶ浜町過疎地域の持

続的發展における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例

**◎報告第6号**  
外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
(「地方税法等の一部を改正する法律」「地方税法施行令の一部を改正する政令」「地方税法施行規則及び航空燃料譲与税法施行規則の一部を改正する省令」が施行されたことに伴い、緊急に条例改正を要するため。)

**◎報告第6号**  
外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
(「地方税法等の一部を改正する法律」「地方税法施行令の一部を改正する政令」「地方税法施行規則及び航空燃料譲与税法施行規則の一部を改正する省令」が施行されたことに伴い、緊急に条例改正を要するため。)

**他 条 例 案 議 案**

6月定例会において審議し可決された条例案他議案は次のとおりです。

●外ヶ浜町デジタル手続推進条例案

●外ヶ浜町特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

●外ヶ浜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案

●青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更について

**ただよび(汝心)**

外ヶ浜町特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

**問** 石岡勉議員  
国会議員の選挙に準ずると書いてあるが、旧金額と比べて、おのおの値段は上がっているのか。

**答** 総務課長  
全て上がっている。投票管理者は1万2600円から1万2800円へ、期日前投票管理者は1万1000円から1万1300円へ、選挙長、開票管理者は1万600円から1万800円へ、投票立会人は9500円から9600円へ、開票立会人は8800円から8900円へ、それぞれ上がっている。

**人事案件**

◎外ヶ浜町教育委員会委員  
(令和6年6月17日任期満了に伴う提案)  
・金澤 真奈美 氏  
任期は令和6年6月18日から令和10年6月17日まで。

**陳 情**

◆陳情第5号(令和5年度受理)  
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求め陳情

【提出者】  
青森を明るくする会  
代表 出町 弘美

【本会議での採択】  
賛成多数で採択

本陳情を採択したことにより「政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査

を求める意見書」が議員発議され、採決の結果、可決された。本意見書は次の方々に送付した。

- 内閣総理大臣 岸田 文雄
- 衆議院議長 額賀 福志郎
- 参議院議長 尾辻 秀久
- 厚生労働大臣 武見 敬三
- 総務大臣 松本 剛明

◆陳情第2号  
外ヶ浜町長・町議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求める陳情書

【本会議での採択】  
全会一致で採択

本陳情は令和4年12月9日付けで町長あて意見書を提出済みのため「資料配付」と決定した。





福井洋一議員

# 農・水産業の振興で人口対策を

## ■答弁▼声を聞き、効果的な振興策を模索

これからの人口対策は

の傾向を個人的な見解として述べた。

ところは違うのではないかと思う。

団体、法人等の話し合いの中で、議論を交わして方向性を見いだし、県、国、大学等と連携しながら外ヶ浜町ならではの振興対策を。

■産業観光課長／農業者、漁業者、生産者と膝を交えながら意見交換し、県と振興策を進める取り組みをしていく。

◆質問①／4月25日東奥日報の記事によると、町長は、個人的な考えと前置きしながら「地域に残る保守的な女性観のイメージが若年女性の流出要因にもなっている」と指摘、「今まで女性を大事にしてこなかった結果もある」と記載された。町長自身のイメージで発言したことなのか、発言した真意を伺う。

◆再質問／誤解を招く個人的な考えと前置きした発言を控えるべきであったのでは。町長には人口対策を講ずる上で、こんなことをやっており、こんな活動をしている明るい団体があるなど、明るい話題を提供していただきたい。町長が地域に残る保守的な女性観、今まで女性を大事にしてこなかった結果があると発言したことを撤回する考えはないか。

■町長／農業者・漁業者の声を聞き、先進事例を参照しながらより効果的な振興策を模索していくことが大切なことと考える。その具体的な振興策が魅力ある農村、漁村づくりにつながることで人口対策になると期待している。



養殖ホタテの水揚げ作業の様子

■町長／外ヶ浜の住民に対して答えたように読まれる方もいらしたのだから、誤解を招いたと思われる。全部撤回をする

◆再質問／個人経営者、

## 町の地域福祉対策は

◆質問①／これまで各地域、各分野で町の発展に寄与してきた高齢者の方々のボランティア活動、就労の場を創設すべきだと考えるが。

■町長／担い手不足が深刻化している中、高齢者の希望に応じた仕事内容、または軽易な就業の場づくりを検討してまいりたい。

◆再質問／農業者、漁業者、企業とマッチングさせ、高齢者の方々でも軽作業で、少しでも収入が得られる就労の場を。生きがいも感じられる旧平

館村高齢者生産活動センター的な場所が、今こそ必要と考えるが。

■町長／60歳を超えても若手で働いている方のほうが多く、昔と少し違うところもある。庁舎内の中で検討し、調べてみたい。

◆質問②／町では、高齢者福祉、障害福祉、児童福祉、その他の福祉に関して包括的な公的支援をどう進めていくべきと考えるか。

■町長／町では、居住の安定化を基盤に介護、医療保険の専門的な支援や多様な生活支援を一体的に提供できる体制づくりを図っていく。また、民生委員・児童委員、自治会役員や企業などと協働して、地域福祉の連携ができるよう環境づくりを構築していく。



◆再質問／小・中学校、民間会社や各種団体、金融機関なども入れた協働

体制の構築を。包括的な公的支援として障害者や高齢者、生活困窮者の方々が就労ができる場所を創出する考えはないか。

■福祉課長／高齢者福祉に関しては、地域包括支援センターを設置している。就労の場についても、農業、漁業者、民間団体等と連携してまいりたい。

◆質問③／介護保険の基準月額を、第8期に比較して40円高い6900円とした。我が町には、国民年金の受給額だけで生活している町民が多く、負担が重くのしかかる中で、介護保険事業を今後、も持続可能な運営ができるのか。

■町長／被保険者の負担軽減に向けた介護給付費の適正化、保険事業及び介護予防事業の強化等を図り、今後とも介護保険事業が持続的に運営できるように努めていく。

◆再質問／第9期の計画

の中では、第2号被保険者（40歳～64歳）の人数は、2040年には約500人が減少すると予想。第1号被保険者65歳以上も、2040年には1500人が減少する。介護保険料はホタテ養殖漁業者など高額所得者が、現状の所得を維持することを前提としており、町民の総所得が減少すると、まだまだ基準額は高くなる可能性があるが。

■町長／介護保険料の適正化に努め、負担軽減策の改革について提言するなど、県や国などにお願いでまいりたい。

◆質問④／一人部屋で自分のリズムに合わせて安心して生活ができる生活支援ハウスを増設する考えはないか。

■町長／現在は定員に達しておらず、待機者もないので増設は考えていない。

◆再質問／条例では、利用者負担額が0円から5万円と定めており、低所得者にとっては負担額が少なく、重要な場所となっている。生活支援ハウスは施設長、生活援助員、宿直員が配置されており、入所者が健康で明るい生活を送れる場所、生活支援ハウスの増設を。

■町長／今後、待機者が出るようなことが予想されるのであれば、そのときに考えてまいりたい。



山口佳子議員

# 投票所に「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」の導入を

■答弁▼活用方法を検討していく

「軟骨伝導イヤホン」の導入について

超高齢化社会に伴って、加齢性難聴の方は年々増加している。窓口などでの聞き漏らしなどで、手続きに不安が生じないよう、新たな取り組みが必要だと考える。

シヨンのな役割を担っている。少人数での自治体運営のため、現時点での検討はない。

◆再質問／来庁時、職員の方から不安な方への声掛けをしてほしいが、その見解は。

■総務課長／声掛けはしているが、さらに充実させる。窓口対応として「書かない窓口」や、本庁と支所、福祉課の窓口をウェブでつなぎ「ワンストップ対応」を心がけるので、理解願いたい。

◆質問②／耳の不自由な方が来庁された際の対応を伺う。

■住民課長／大きな声で、ゆっくりと説明。筆談なども取り入れている。

◆質問①／本庁舎に来庁した際、どこに相談したらいいか分からず不安になられた町民から「総合案内窓口」の設置を要望するお声がある。見解を伺いたい。

◆質問③／当町役場窓口に来られた耳の不自由な方と円滑なコミュニケーションが取れるように、窓口で「軟骨伝導イヤホン」を導入し、更なる町民へのサービス向上を図ってはどうかと考えるが、その見解を伺う。

■町長／「骨伝導イヤホン」が有効との情報から準備中。今後、状況に応じて対応を考える。

誰もが投票しやすい環境を

私たちの生活をよりよくしていくためには、私たちの意見を国政や地方行政に反映させてくれる

◆質問／投票所において、支援が必要な方への新たな取り組みとして「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入したいが、その見解を伺う。

■選挙管理委員会委員長／投票所の問題を喚起していただいで感謝する。

◆質問／投票所において、支援が必要な方への新たな取り組みとして「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入したいが、その見解を伺う。

■選挙管理委員会委員長／投票所の問題を喚起していただいで感謝する。

## 用語メモ

### 投票支援カード

投票所でお手伝い（支援）してほしい内容をあらかじめカードに記入し、投票所で係員に提示することで、投票手続きをスムーズに行うことができます。

### コミュニケーションボード

投票所で想定されるお手伝い（支援）をイラストや文字で表したものです。対応してほしい内容を指さすことで、投票所の係員に自分の意思を伝えることができます。



石岡 勉議員

# 避難所運営のシミュレーションは？

■答弁▼現在していないが、今後行う

◆質問①／3月に毎戸配布された改訂版外ヶ浜町

防災マップの津波ハザードマップには、津波の到達時間が各地区ごとに赤

この中の津波影響開始時間とは何のことなのか。また、津波の第一波到達時間が一番早いところは、平館地区舟岡のゼロ分、

次が蟹田地区石浜の1分、一番遅いのが平館地区根岸が38分。三既地区は龍飛が20分、増川が29分と示されている。なぜ、むつ湾内が一番早く津波が来るのか。

■町長／津波影響開始時間とは、地震発生を開始時間として、水位が20センチ上昇または下降したときの最短時間を指している。第一波到達時間は県からのデータを基にしているが、20以上ある津

波モデルの中から、最短で何分かを示している。

◆再質問／舟岡ゼロ分、石浜1分というのは、震源地がむつ湾だと理解してよいのか。

■総務課長／全ての地震と解釈しており、直下型のむつ湾内の地震を含め、舟岡ゼロ分、石浜1分という表記になる。

◆質問②／防災マップには、各避難所も明記されているが、海沿いの地区の避難所は津波に対し不適なところも多数ある。津波のときには身を守るために、高台への避難が第一だと思う。安全な高い場所を明記し示すべきと思うが。

■町長／最初に避難すべき高台等は、自助としての対応を優先していただき、それぞれの家庭で防災マップなどを参考にしながら避難路等の設定をしていただきたい。

◆再質問／町長は自助と言うが、町内会・自治会プラス行政と一緒に取り組む、いわゆる共助・公助も必要があると思うが。

■総務課長／町長の答弁は、津波のエリア外への自助の行動を優先していただきたい、ということである。今後、各自治会の方々と一緒に共助という形も検討したい。

◆再々質問／一人暮らしの高齢者など、思うように避難もできないなど、地域での共助を必要とす



津波第一波到達予定時間がゼロ分の平館地区舟岡の海岸

る方々も多くなっている。地域からの声に行政は、当然、協力すべきと思うが。

■町長／共助がなくては地域の住民を守れないのは、指摘のとおりである。そこで自主防災組織も必要になる。今後も町として、地区・地域と協力してやっていきたい。

◆質問③／昨年、三厩四枚橋地区の住宅の背後の高台へ登る階段状の道の老朽化を指摘したが、その後どうなっているのか、また、この道の設置と管理はどこが行うものなのか。

■町長／この階段状の道は、青森森林管理署が設置、管理することになっている。昨年、指摘された箇所は森林管理署に伝えており、今年度より修繕に着手するとの報告があった。また、同地区にはこの道を含め、4カ所同様の道があり、いずれ

も森林管理署の管理となっている。

◆質問④／三厩元宇鉄川の堀川橋から下流は、川幅が狭く段差もあり、大雨で流木等が流れを塞いだ場合、大変な災害になると思う。対策はどう

なっているのか。

■町長／元宇鉄川は、青森県の管理になっており、河床の洗掘や堆積土砂の撤去について、東青地域県民局地域整備部へ早期の対応を要望しているが、まだ実施に至っていない。



三厩元宇鉄川、堀川橋から下流方面の様子

引き続き要望していく。

◆質問⑤／大地震・大津波の場合、被災は広範囲、かつ長期の避難となる。町として、水・食料・燃料、停電対応の発電機などの備蓄や確保、また、長期の避難所の運営シミュレーションはしているのか。

■町長／水害での避難所の開設はしたことがあるが、大規模な避難に対するシミュレーションはしていない。今後、検討したい。

◆再質問／災害発生後、第一段階の避難所、次に第二、第三と段階ごとの避難所の運営と、これに係る水や食料などの数量のシミュレーションをすべきと思うが。

■町長／今後、避難所にかかわるシミュレーションをしたいと思う。また、いま県から防災等の備品について、各市町村がどれくらい持っているのか

どの照会が来ている。県も数量の把握に努めている。その数字をもとに、11月15日に全県での広域的な訓練を予定している

と聞いている。町としてもそれに向けて、シミュレーション等で、必要な物品や数量を把握してまいりたい。

◆再々質問／以前、役場車庫に予備として、消防用小型ポンプ・発電機を保管していたが、大半がエンジン不動で処分した。また、各自治会にも助成金で発電機があると思うが、非常時に使えるようになっていないのか。

■総務課長／助成金で各自治会では発電機や除雪機を購入しているが、その機器は自治会の財産であり、状況は把握していない。今後、各自治会と台数や管理状況を共有し、非常時に使えるようになっていきたい。

### 産業建設常任委員会 町内施設視察

5月13日、当町議会の産業建設常任委員会が、町内の観光施設の視察を行いました。

今回の視察は、主に町内の公衆トイレを主体にして実施されました。委員の皆さんは、国内



視察中の委員（三厩龍浜地区トイレ）

有数の観光施設である三厩地区の龍飛岬周辺を中心に、町内各地の公衆トイレ等を視察し、担当者から説明を受けました。

龍浜地区、階段国道のふもとにある公衆トイレでは、男女2つあるトイ



担当課職員より説明を受ける委員

レのうち女子トイレが使用不能となっており、早急に改善を要する等の意見が委員から出ました。委員から出された意見は取りまとめ、町に對し要望書として提出しました。

当委員会では、より良い町づくりのために、今後も活動を続けてまいります。

### 県下町村議会 議員研修会



講師の細川隆三氏

7月17日、青森市のリンクモア平安閣市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議会からは8名の議員が参加しました。

この研修会は、専門の講師をお招きして毎年開催されているもので、この日の講師は、「羽鳥慎一モーニングショー」や「報道ステーション」などのテレビ番組、ラジオ

放送、インターネット放送等で活躍している、政治家ジャーナリストの細川隆三氏で、「日本政治の行方」ズバリ解説！政局の焦点」と題して講演しました。

講演では、現政権の話題や、東京都知事選挙、アメリカ大統領選挙の話題について。また、近年問題となっている、政治資金と裏金の話題まで、幅広い分野に渡って熱弁され、参加した議員の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。



受講中の当町議員

## 総務文教常任委員会 町内施設視察

5月28日、当町議会の総務文教常任委員会が、町内の教育・福祉施設等の視察を行いました。この日は、蟹田小学校、三厩小学校、三厩中学校、平舘交流センター、外ヶ浜町社会福祉協議会を視察しました。



あいさつする戒総務文教常任委員長（蟹田小学校）

視察先の各施設では、担当者から、施設の現状と今後の課題等について説明を受け、委員の皆さんと活発な意見交換をされました。また、三厩小・中学校



授業を視察する委員（三厩小学校）

両校では、今後予定されている一貫校化についての課題も話題になり、6月17日に実施される視察研修先である、小中一貫校の先進地、中泊町「こどもり学園」視察の際の貴重な意見となりました。当委員会では、より良い町づくりのために、今後も活動を続けてまいります。

## 東津軽郡町村議会健康管理セミナー

7月26日、東津軽郡町村議会議長会主催による、東津軽郡町村議会議員健康管理セミナーが、外ヶ浜町中央公民館において開催され、当町議会からは全議員11名が参加しました。



2連覇し優勝旗を受け取る三上副議長

当日は、東津軽郡管内の4町村議会の議員が一堂に会し、血圧測定、ラジオ体操で体をほぐした後、「ペタンク」という競技でリーグ形式で対戦しました。

ペタンクは1910年に南フランスの港町ラ・シオタで生まれたと言われる競技で、ビュットと呼ばれる目標球を最初に投げ、その後、ボールと呼ばれるボールを目標球に向かって投げ合い、相手より近づけることによって得点を競います。

2026年に青森県で開催される第80回国民スポーツ大会（旧称国民体育大会）において、ペタンクがデモンストレーションスポーツとなっており、その競技会場に外ヶ浜町が指定されています。

## 国道280号バイパス建設 整備特別委員会現地視察

6月21日、当町議会議員全員で構成される、国道280号バイパス建設整備特別委員会が、蟹田中師地区の国道280号バイパス建設予定地の視察を行いました。

当日は、青森県東青地



県職員より説明を受ける委員

域民局地域整備部道路施設課の職員から、計画の内容と現状について説明を受けた後、現地に赴いて、建設予定地の現状と、建設現場を視察しました。



バイパス建設予定地を視察する委員

5月29日、青森県労働福祉会館において、町村議会広報研修会が開催され、当町議会からは4名の議会広報特別委員が参加しました。研修会は、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え、「広報紙制作のポイント」と題して講演があり、その後実際に発行された議会広報紙を添削していただき、議会広報の制作について学びました。



受講中の当町議員

## 町村議会 広報研修会

7月9日、上北郡横浜町議会の議会活性化特別委員会の皆様が来庁し、当町議会の議員定数が奇数の11名になった経緯や、その後の議会の運営等について聞き取り調査を行いました。

## 横浜町議会活性化 特別委員会来庁

当日は、横浜町議会活性化特別委員会から菊地委員長はじめ4名の委員が、当町議会からは鈴木議長はじめ3名の議員が出席し、活発な意見交換を行いました。



活発な意見交換を行う両町議員

青森県  
中泊町

# 小中一貫校「こどもり学園」視察

当委員会は、6月17日、まる三厩小中一貫校の運営について、少しでも参考になるものがあれば吸い出し、当町の教育環境を整え充実させていくために役立てていきたいという目的を持って実施しました。



中泊町の小中一貫校「こどもり学園」

これは、来年度から始

まる三厩小中一貫校の運営について、少しでも参考になるものがあれば吸い出し、当町の教育環境を整え充実させていくために役立てていきたいという目的を持って実施しました。

中泊町の小中一貫校である「こどもり学園」は、中学校の耐震不足、小学校の津波浸水被害予測、住民アンケートの結果などを踏まえ、小学校と中学校を統合し、義務教育の9年間で一貫教育とすること。地域住民との交流や防災拠点としての機能を持たせた「地域の中心となる学校」を目指して、令和4年4月に開学しました。



施設を見学する当町委員団

ふれた校舎です。一番気になっていた授業開始や終了の合図はどうするのだろうかというところは、ベルは鳴らさず、児童生徒も教師も時計を見て行動するので、何の支障もないということでした。

また、小学校の校歌は、それぞれの行事、入学式や卒業式などがずれるため、そのまま使っているということでした。

総務文教常任委員会  
委員長 戎 修

青森県  
佐井村

# 「漁師縁組」で担い手不足解消

近年、私たちを取り巻く環境の変化として、少子高齢化の進展と、生産年齢人口の減少による労働力不足が深刻化しています。

当町においても、一次産業の担い手不足を考えると、他人事ではありま

せん。そのような中、佐井村では「漁師縁組」として、都市部から漁師になる若者たちが話題になっています。

漁師縁組事業は、漁業従事者の高齢化、担い手不足解消、新規就業への



あいさつをする石岡産業建設常任委員長

誘導と定住、漁業分野における地域力の維持・強化を目的として行われています。

漁師縁組には3つの研修期間があり、最初は基礎研修として、漁業後継者育成研修「資陽塾」に入校し、基礎知識を習得。次に、長期研修期間では、村内漁業技術指導者の下で、技能と技術を3年間で、最後に、就業定着期間で、2年間、漁業経営者として正組合員取得を目指しながら、地域に定着していくそうです。

研修期間中は、佐井村漁業支援員として委嘱し、最長5年間、生活費等の支援があり、研修2年目からは、准組合員として小舟を借りて、自分で釣った魚やアワビ、ウニ等を取り、漁協に出荷し、漁師として自立できるよ



太田村長（後列一番左）、竹内議長（前列左から2人目）、内藤総務産業常任委員長（後列左から2人目）と当町委員団

うに費用を確保するそうです。

その他に、家賃助成や転居費用の助成、資格取得助成など、漁師縁組に挑戦する方の不安を取り除く対策が多岐にわたって行われていました。

今回の視察では、一次産業に対する移住者支援のあり方と、地方を取り巻く担い手不足解消の一端を知る視察となりました。

産業建設常任委員会  
委員 横山 拓雄

# 議会にお越しください



外ヶ浜町議会では、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、不定期で開催される臨時会が開催されています。

定例会については、町内放送でも町民の皆さんにお知らせしています。

議場には傍聴席があり、議員による一般質問や、事前に提出された議案の審議などを見聞きすることができます。

外ヶ浜町の置かれている状況や、今後に向けての対策や政策の提案、それらに関する議員と行政とのやり取りなど、活発な議論が行われております。

**みなさん、ぜひお越しください！**

## 『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、「**みなさんの声**」を募集しています。

例えば：

- ・文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・議会で検討するとされた質疑の、その後を知りたい。
- ・他市町村の議会だよりのように、町内の家族なども取り上げてはどうか。
- ・など、どんな『声』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。

いただいた『声』は紙面にて発表させていただくこともあります。その際はご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

## 編集後記

この編集後記が皆様のお手元に届くころには、初秋を迎え少しは涼しくなっていることと思います。近年の温暖化により、外ヶ浜町でもエアコンなしでは大変厳しい状況が続いています。

また、農産物・海産物においても不作・不漁が続き、今後、町としても国や県と協力して対策が求められると考えます。人口減少対策はやはり産業の育成です。議会では、少しでも町民の皆さまの後押しができるように議論を進めてまいります。

追伸、今年の冬も雪が少なそうでしたね。

浜谷 恭市

## 議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一  
副委員長：横山 拓雄  
委員：山口 佳子 / 柳谷 隆男  
          浜谷 恭市 / 石岡 勉  
          三上 満